## 【学 歴】

昭和37(1962)年3月 立命館高等学校普通科卒業

昭和41(1966)年3月

日本体育大学体育学部健康学科卒業

昭和49(1974)年6月~昭和59(1984)年3月

東京慈恵会医科大学生理学教室専攻生

昭和59(1984)年3月

医学博士学位授与(東京慈恵会医科大学第1071号)

平成3(1991)年4月~平成4(1992)年3月

Max-Planck-Institut (ドイツ) へ海外研修員, Prof. Dr. med. Klaus Pleschkaと"冬眠動物の体温調節機構に関する生理学的研究"を行う.

平成9 (1997) 年7月~平成9 (1997) 年9月

D.A.A.D. (ドイツ学術交流会) の招聘により Max-Planck-Institut (ドイツ) において、「Study the effects of acute cold on metabolism a circulation and the turnover of catecholamines in brain, heart and brown adipose tissues in cuthermic hamster | の研究を行う.

平成 24 (2012) 年 10 月~平成 25 (2013) 年 3 月

ドイツケルン大学医学部へ海外研究員、「喫煙問題、特に受動喫煙対策」 について研究を行う.

## 【職 歴】

(専任)

昭和45(1970)年4月~昭和55(1980)年3月 昭和55 (1980) 年4月~昭和61 (1986) 年3月 昭和61 (1986) 年4月~昭和62 (1987) 年3月

昭和41 (1966) 年4月~昭和45 (1970) 年3月

昭和62(1987)年4月

昭和62(1987)年5月~平成7(1995)年3月 平成7(1995)年4月~平成13(2001)年3月

平成 13 (2001) 年 4 月~平成 14 (2002) 年 3 月

平成 14(2002)年 4 月~平成 26(2014)年 3 月 京都産業大学経営学部教授

京都産業大学教養部助手

京都産業大学教養部講師

京都産業大学教養部助教授

京都産業大学現代体育研究所助教授

京都産業大学現代体育研究所教授

京都産業大学教養部教授

京都産業大学現代体育研究所教授

京都産業大学体育教育研究センター教授



(兼任)

昭和62(1987)年5月~平成7(1995)年3月 京都産業大学現代体育研究所教授

(非常勤)

昭和 45 (1970) 年 4 月~昭和 49 (1974) 年 3 月

立命館大学

昭和47(1972)年1月~昭和50(1975)年3月

京都大学

昭和48 (1973) 年4月~昭和49 (1974) 年3月

京都工芸繊維大学

昭和58 (1983) 年4月~昭和59 (1984) 年3月

京都工芸繊維大学

昭和62(1987)年4月~平成2(1990)年3月

京都工芸繊維大学

平成2(1990)年4月~平成3(1991)年3月

武田病院心臓リハビリセンター

平成4(1992)年4月~現在

立命館大学

平成 10 (1998) 年 4 月~平成 24 (2012) 年 9 月 京都女子大学

## 【学会活動等】

昭和43(1968)年3月~現在 日本体育学会会員

昭和 43 (1968) 年 3 月~平成 25 (2013) 年 12 月 日本生理学会会員

平成 2 (1990) 年 4 月~平成 25 (2013) 年 12 月 日本生理学会評議員

昭和43(1968)年3月~現在 京都体育学会会員

平成 12 (2000) 年 4 月~平成 22 (2010) 年 3 月 京都体育学会理事(会計担当)

昭和43(1968)年6月~現在 日本体力医学会会員

昭和50(1975)年~平成元(1989)年 日本体力医学会総務委員

昭和50(1975)年12月~現在 日本体力医学会評議員

昭和55(1980)年10月~現在 日本宇宙航空環境医学会会員

昭和57(1982)年~現在 日本宇宙航空環境医学会評議員

平成 2(1990)年 4 月~現在 FIMS WORLD CONGRESS of SPORTS MEDICINE 会員

平成2(1990)年10月~現在 日本生気象学会会員

平成9(1997)年10月~平成15(2003)年3月 日本バイオメカニクス学会会員

平成 15 (2003) 年 4 月~現在 京都禁煙推進研究会会員

平成 17 (2005) 年 12 月~平成 23 (2011) 年 3 月 NPO 法人京都禁煙推進研究会理事

昭和62(1987)年4月~平成14(2002)年3月 運動と体温の研究会事務局(幹事)

平成22(2010)年7月~現在 日本体力医学会論文査読委員

## 【社会活動等】

昭和39(1964)年2月 日本陸上競技連盟公認第3種審判員

昭和 41 (1966) 年 4 月~昭和 44 (1969) 年 3 月 京都陸上競技協会幹事

昭和 44(1969)年	年4月 日本陸上	二競技連盟	显公認第	2種審判員	
昭和 44(1969)年	年4月~昭和46	(1971) 名	年3月	京都陸上競技協会	理事
昭和 46(1971)年	年4月~昭和48	(1973) 4	年3月	同上	常務理事
平成 12(2000)年	年4月~平成13	(2001) 名	年3月	京都市立七条中学	校 PTA 会長
平成 13(2001)年	年4月~平成14	(2002) 名	年3月	同上	
平成 16(2004)年	年4月~平成17	(2005) 名	年3月	同上	
平成 12(2000)年	年6月~平成13	(2001) 在	年5月	京都市立中学校 P	TA 連絡協議会要望委員会委員
平成 13(2001)年	年6月~平成14	(2002) 名	年5月	同上	
平成 13(2001)年	年4月~平成14	(2002) 名	年3月	京都市下京区ふれ	あい事業実行委員会委員
平成 13(2001)年	年4月~平成14	(2002) 在	年3月	京都市立七条中学	校評議員
平成 16(2004)年	年4月~平成17	(2005) 名	年3月	同上	
平成 13(2001)年	年8月~平成14	(2002) 名	年7月	京都市下京区生活	安全推進協議会委員
平成 16(2004)年	年4月~平成17	(2005) 在	年3月	京都市下京区「人	づくり」ネットワーク実行委員
				会委員	

# 【学内委員等】

昭和 57(1982)	年4月~昭和59	(1984)	年3月	京都産業大学	<b>丝教務委員会委員</b>
昭和61 (1986)	年4月~平成元	(1989)	年3月	同上	図書館委員会委員
平成 10(1998)	年4月~平成13	(2001)	年3月	同上	
平成元(1989)	年4月~現在			同上	放射線安全委員会委員
平成7(1995)	年4月~平成9(1	1997)年	3月	同上	学生健康保険互助会理事
平成 11(1999)	年4月~平成13	(2001)	年3月	同上	全学自己点検・評価委員会委員
平成 19(2007)	年 4 月~平成 21	(2009)	年3月	同上	
平成 11(1999)	年11月~平成 12	(2000)	年1月	同上	研究者要覧作成 • 検討委員会委員
平成 12(2000)	年 4 月~平成 12	(2000)	年9月	同上	研究所改組委員会委員
平成 12(2000)	年7月~平成13	(2001)	年3月	同上	喫煙マナーアッププロジェクト委員
					会委員長
平成 14 (2002)	年 4 月~平成 16	(2004)	年3月	同上	人権委員会委員
平成 15(2003)	年 4 月~平成 17	(2005)	年3月	同上	人権センター運営委員
平成 16(2004)	年 6 月~平成 18	(2006)	年5月	同上	入試委員会委員
平成 16(2004)	年 5 月~平成 24	(2012)	年4月	同上	衛生委員会委員(衛生管理者)
平成 21 (2009)	年 4 月~平成 23	(2011)	年3月	同上	全学省エネルギー推進委員会委員

## 【免許等】

柔道初段(講道館) 昭和41(1966)年1月

中学校教諭一級普通免許状(教科保健体育)免許番号 昭和 41(1966)年中 1 普第 851 号高等学校教諭二級普通免許状(教科保健体育)免許番号昭和 41(1966)年高 2 普第 927 号普通自動車第一種免許 免許番号 61670798230 号 昭和 42(1967)年衛生管理者免許状 免許番号 第 7565 号 昭和 44(1969)年 4 月

## 【賞罰等】

昭和39(1964)年12月 オリンピック東京大会競技役員感謝状

昭和41(1966)年3月 日本体育大学学友会役員感謝状

昭和60(1985)年3月 日本体育大学同窓会感謝状

昭和60(1985)年4月 優良運転者(連続無事故・無違反)表彰状

平成13(2001)年9月 優良運転者(連続無事故・無違反)表彰状

平成19(2007)年5月 優良運転者(連続無事故・無違反)表彰状

## 【研究業績】

#### (著書等)

- (1) 『京都陸上競技のあゆみ』(編集委員) B5 版, 280 頁, 印刷 京洛社, 発行 京都陸上競技協会, 1972.
- (2) 『新修体育大辞典』(執筆委員) B5 版, 1907 頁, 不味堂出版, 東京, 1976.
- (3) 『身体運動の科学, 3, 運動の制御』(分担執筆)"随意収縮時におけるヒト単一運動単位の特性"大森俊夫,長津平二,長谷川豪志,森本 茂,倉田 博,増田 允,杏林書院(東京),1979.
- (4) 『身体運動の科学, 3, 運動の制御』(分担執筆)"随意運動におけるヒト単一運動単位の特徴づけ" 倉田 博,森本 茂,増田 允,大森俊夫,長谷川豪志,杏林書院(東京),1979.

## (原著論文等)

- (1) 「基礎代謝量に関する研究,第一報,運動選手の基礎条件時並びに安静時における体熱産生の季節変動について」山田敏男,佐藤尚武,辻 忠,吉村磯次郎,三宅義信,長谷川豪志,体育学研究,14(2),1969.
- (2)「基礎代謝量に関する研究,第二報,女子運動選手の基礎代謝量の季節変動について」山田敏男, 佐藤尚武,辻 忠,吉村磯次郎,三宅義信,長谷川豪志,体育学研究,14(3),1970.
- (3)「本学学生の健康管理に関する研究,大学正課体育の鍛錬効果について」長谷川豪志,京都産業大学論集,4,自然科学編,1,1972.
- (4)「体温調節に及ぼすトレ-ニングの影響について」長谷川豪志,東 隆暢,京都産業大学論集,4,

- 自然科学編, 2, 1973.
- (5) 「筋収縮及び弛緩における運動単位の phasic 及び static な特性について」森本 茂, 長谷川豪志, 体力科学、25(3)、1976.
- (6)「本学学生の健康管理に関する研究, 第二報, トレ-ニングが握力調節能力に及ぼす影響について」 長谷川豪志, 京都産業大学論集, 6, 自然科学編, 6, 1977.
- (7)「筋弛緩における単一運動単位の活動参加様式の特性」森本 茂, 倉田 博, 増田 允, 大森俊夫, 長谷川豪志, 体力科学, 26 (2), 1977.
- (8) 「ヒト単一運動単位の単収縮張力曲線と放電パタ-ンの関係について」倉田 博,長谷川豪志,森本 茂,馬詰良樹,増田 允,体力科学,26(2),1977.
- (9) 「選択反応動作の時間特性について」長谷川豪志、体力科学、26(3)、1977.
- (10)「身体鍛錬者と非鍛錬者の耐熱性の比較」山田敏男, 佐藤尚武, 田中信雄, 千賀康利, 長谷川豪志, 辻 忠, 堀 清記, 体力科学, 27 (2), 1978.
- (11) "Decrease in skin temperature producedby muscle vibration" Masuda, M., Nishimuta, M., Ohmori, T., and Hasegawa, H., J.J. Aerospace Environ. Med., 16, 1979.
- (12) 「防寒帽, ear pad 着用時の寒冷, 寒風環境における体温調節」長谷川豪志, デサントスポーツ科学, 3, 1982.
- (13)「睡眠時の総頚動脈血流, 脳循環の適応機構の解析」増田 允, 長谷川豪志, 池田道明, 内野欣司, 昭和 55~56 年度慈恵医大共同研究報告書, 1982.
- (14)「頭部冷却時の鼓膜温」内野欣司,増田 允,長谷川豪志,昭和55~56年度慈恵医大共同研究報告書,1982.
- (15)「頭部冷却時の鼓膜温」内野欣司,増田 允,長谷川豪志,西牟田守,宇宙航空環境医学,19,1982.
- (16) "Human common carotid blood flow during sleep" Masuda, M., Uchino, K., Ikeda, M., Ohmori, T., Hasegawa, H., andShibayama, H., J.J. Aerospace Environ. Med., 20, 1983.
- (17) "Temperature changes of blood in cutaneous superficial veins during external cooling" Hasegawa, H., J.J. Aerospace Environ. Med., 20, 1983.
- (18) 「H 反射に及ぼす環境温低下の影響」長谷川豪志,小川芳徳,森本 茂,内野欣司,増田 允, 宇宙航空環境医学、22,1985.
- (19) "Biochemical responses of XENOPUS LAEVIS muscles to changes in environment, 2, Responses to gravity and pressure" Ohira, Y., Masuda, M., Hasegawa, H., Ohira, M., and Ikawa, S., J.J. Aerospace Environ. Med., 22, 1985.
- (20)「スポーツマツサージ及び環境温が皮膚血流量に及ぼす影響」長谷川豪志,デサントスポーツ科学,7,1986.
- (21)「運動時の作業能力と快適性に関する温熱生理学的研究」朝山正巳、長谷川豪志、大貫義人、

辻田純三,平田耕造,デサントスポーツ科学,12,1991.

- (22)「大学生の喫煙習慣に関する研究、喫煙行動に関する諸要因の分析(1987~1991)」今里正克、 火箱保之、蔭山靖夫、星野光信、村上博巳、長谷川豪志、北條和明、京都産業大学現代体育研 究所所報、2. 1993.
- (23)「運動按摩対咏博,血圧及爆友性肌肉用力影向的研究」孫 志堅,回 叔芳,長谷川豪志,山 東体育学院学報(中華人民共和国)9(3),1993.
- (24)「喫煙習慣そして加齢現象が肺機能に及ぼす影響」星野光信,今里正克,蔭山靖夫,長谷川豪志, 火箱保之,村上博巳,北條和明,京都産業大学現代体育研究所所報,3,1994.
- (25) "Effects of cigarette smoke exposure or pulmonary and systemic circulations in rats" Kashimura, O., and Hasegawa, H., Bulletein of Shinshu Honan Wemens Junior College, 12, 1995.
- (26)「高齢者における運動実施・喫煙習慣の有無による肺機能への影響」長谷川豪志,大阪ガスグルー プ福祉財団研究調査報告集, 8, 1995.
- (27)「推拿作用杭理的探討」趙 国新,長谷川豪志,按摩与已引(中華人民共和国)64,1995.
- (28)「手と足の末梢皮膚温に及ぼす手と足の形態の影響」村上博巳,田中信雄,足利義男,長谷川豪志, 澤田博義,辻田純三,堀清記,京都産業大学現代体育研究所所報,5,1996.
- (29)「体育会クラブ新入生に対する循環器検診の解析:スポーツ心臓に合併する心電図異常と心疾患」 澤田博義, 二方好子, 笠川町子, 川口真珠子, 浜川純一, 倉田昌彦, 中川清秀, 米田道正, 足 利義男, 長谷川豪志, 京都産業大学現代体育研究所所報, 5, 1996.
- (30)「肺機能測定からみたエアロビクス運動の特徴」長谷川豪志,京都産業大学現代体育研究所紀要, 6. 1997.
- (31)「本学学生の健康管理に関する研究」田中信雄,村上博巳,足利善男,長谷川豪志,澤田博義,京都産業大学体育研究所紀要,6,1997.
- (32)「安静時呼気中一酸化炭素濃度と喫煙習慣の関係」長谷川豪志,鳥居寛範,松田幸三,京都体育学研究,17,2001.
- (33)「本学学生の健康管理に関する研究―喫煙習慣と学力の関係」長谷川豪志,京都マネジメント・レビユー,9,2006.

## (資料・調査等)

- (1)「本学学生の健康管理に関する研究,第三報,Time study よりみた運動実施と時間構造について」 長谷川豪志、小島広政、千賀康利、京都産業大学論集、7、自然科学編、8、1978.
- (2)「本学学生の健康管理に関する研究,第四報,走幅跳指導における学習効果について」長谷川豪志,京都産業大学論集,7,自然科学編,8,1978.
- (3)「本学学生の健康管理に関する研究,第五報,喫煙がスポ-ツテストに及ぼす影響」長谷川豪志,京都産業大学論集,10,自然科学編,10,1981.

- (4)「(海外研修報告) Max-Planck 研究所の研修を終えて」長谷川豪志,京都産業大学現代体育研究 所所報, 2, 1993.
- (5)「本学における障害学生・教職員および高齢者へのサポート態勢について」長谷川豪志,住友しのぶ,辻陽子,青木智恵,鹿子島康生,木原和雄,松岡佑佳,吉田正子,京都産業大学1998年養護クラス発行,印刷,三精社,1999
- (6)「何故「タバコ」の研究なのか」長谷川豪志、京都産業大学現代体育研究所紀要、10、2001

#### (その他)

- (1)「最近5ヶ年の記録・成績よりみた高校駅伝の勢力分布」長谷川豪志、陸上競技マガジン、20 (12) ベースボールマガジン社、東京、1970、
- (2)「日常生活へ楽しい体力作りを」長谷川豪志,雄飛,2,京都産業大学志学会執行委員会,1971.
- (3)「記録は正直もの」長谷川豪志,京都陸協通報,100.京都陸上競技協会,1972.
- (4)「母校もう一つの十年,体育実技今昔」長谷川豪志,京都産業大学同窓会創立 10 周年記念事業 実行委員会,1976.
- (5)「繋がり」長谷川豪志,京都産業大学同窓会報,13,京都産業大学同窓会,1977.
- (6)「オリンピックで新記録を作った(と言われた)話」長谷川豪志,佐々木吉蔵教授記念集"佐々木吉蔵"pp.527~528. 佐々木吉蔵教授記念集編集委員会,第一法規出版,東京,1982.
- (7)「ちょっと気になること」長谷川 豪志,京都産業大学同窓会報第25号,20周年記念特集号,1989.
- (8)「会員名簿と10年のあゆみ」長谷川豪志、運動と体温の研究会事務局、1996.
- (9)「能勢賢一さんを偲ぶ」長谷川豪志, 京陸協通報, 370, 京都陸上競技協会, 1997.
- (10)「喫煙の不健康学」長谷川豪志、京都産業大学新聞、115、京都産業大学新聞局、1997。
- (11)「こどもたちへ」長谷川豪志,ことほぎ,小野三嗣先生の喜寿に寄せて,小野三嗣先生喜寿記念誌刊行委員会,フリースペース. 1998.
- (12)「子どもを育てるということ」長谷川豪志, あしかび, 第79号, 京都市立七条中学校 PTA 広報委員会、2000
- (13)「親と子」長谷川豪志, N.J.C.C. 第23号, 七条中学校区地域生徒指導連絡協議会, 2000.
- (14)「卒業にあたり御挨拶」長谷川豪志,あしかび,第80号,京都市立七条中学校PTA 広報委員会, 2001.
- (15)「平成 13 年度七条中学校 PTA 役員を拝命して」長谷川豪志,あしかび,第 81 号,京都市立七条中学校 PTA 広報委員会,2001.
- (16)「会員名簿と15年のあゆみ」長谷川豪志、運動と体温の研究会事務局、2001、
- (17)「会員参加型の PTA 活動へ」長谷川豪志, PTA しんぶん, 第 67 号, PTA しんぶん社, 2001.
- (18)「心の豊かな子どもに」長谷川豪志, あしかび, 第82号, 京都市立七条中学校 PTA 広報委員会,

2002.

- (19)「タバコの人体に及ぼす影響」長谷川豪志,保険部会報,43,京都産業大学学生健康保険互助会・ 学生健康保険部会,2003.
- (20)「再び PTA 会長を引き受けて子育てについて考えること」長谷川豪志、あしかび、第 87 号、 $pp.1\sim2$ . 京都市立七条中学校 PTA 広報委員会、2004.
- (21) 「三度の PTA 活動を通して感ずること」長谷川豪志,あしかび,第 88 号,京都市立七条中学校 PTA 広報委員会,2005.

#### (学会発表等)

- (1)「運動選手の基礎代謝量と副腎機能について」体育学研究, 13, 1969.
- (2)「女子運動選手の基礎代謝量の季節変動について」体育学研究, 13, 1969.
- (3)「運動選手の基礎条件時並びに安静時に於ける体熱産生の季節変動について」体育学研究, 13, 1969.
- (4)「運動選手の蛋白栄養と腎機能について」体育の科学, 19, 1969.
- (5)「運動選手の蛋白栄養と体力について」体育の科学, 19, 1969.
- (6)「運動選手の基礎代謝量とホルモン環境について」体育学研究, 14, 1970.
- (7)「運動選手の基礎代謝量と蛋白栄養について」体育学研究, 14, 1970.
- (8)「運動訓練時の運動適応と蛋白栄養」体育学研究, 15, 1971.
- (9)「運動鍛錬時の蛋白栄養と生理学的作業能力について」体育の科学, 21, 1971.
- (10)「蛋白栄養と作業能力について」第25回日本体力医学会総会報告書,1971.
- (11)「大学運動部員の赤血球抵抗性について」日本体育学会第23回大会号,1972.
- (12)「体温調節に及ぼすトレ-ニングの影響について」日本体育学会第24回大会号,1973.
- (13)「運動時の汗の窒素排泄量とタンパク栄養について」日本体育学会第24回大会号,1973.
- (14)「運動訓練時の摂取蛋白量と尿排泄窒素の関連について」第 27 回日本体力医学会総会報告書, 1973.
- (15)「視覚情報なしの単一運動単位のスパイク発現率」第28回日本体力医学会総会報告書,1974.
- (16)「運動訓練と体熱平衡について」第28回日本体力医学会総会報告書,1974.
- (17)「相働的随意筋収縮と弛緩」体力科学, 23, 1974.
- (18)「単一運動単位の単収縮張力」体力科学、24、1975.
- (19)「単一運動単位における単発スパイク発現に伴う筋張力変化」第 30 回日本体力医学会総会報告書,1975.
- (20)「選択反応動作の時間特性について」第31回日本体力医学会総会報告書, 1976.
- (21) "Certain characteristics of single human motor units in voluntary contraction." 第 3 回キネシオロ ジーセミナー予稿集,1976.

- (22) "Characterization of single human motor units in voluntary movement." 第 3 回キネシオロジーセミナー予稿集. 1976.
- (23)「単一運動単位における交叉性効果」第32回日本体力医学会総会報告書,1977.
- (24)「External cooling の H 反射に及ぼす影響」体力科学, 27, 1978.
- (25)「環境温低下並びに前腕冷水浸積時における静脈血温の特性」体力科学, 28, 1979.
- (26) "Temperature changes of Cutaneous Superficial veins blood during external cooling" J.Physiol. Soc. Japan. 42, 1980.
- (27)「前腕冷水浸積時における皮静脈血温の特性」体力科学、29、1980、
- (28)「顔面水中浸積時の鼓膜温」宇宙航空環境医学、17、1980.
- (29) "Human common carotid blood flow during sleep." J.Physiol. Soc. Japan. 43, 1981.
- (30)「環境温変化による H 反射の影響」体力科学, 30, 1981.
- (31)「頭部冷却による鼓膜温」宇宙航空環境医学, 18, 1981.
- (32)「環境変化の鼓膜温」体力科学、31, 1982.
- (33)「ヒトの寒冷適応と鼓膜温」宇宙航空環境医学, 19, 1982.
- (34)「皮膚軽擦法における血流量変化」体力科学, 34, 1985.
- (35)「本学学生の喫煙習慣と呼吸機能・運動能力の関係」体力科学, 36, 1987.
- (36)「大学生の喫煙習慣に関する研究. 第2報, 喫煙行動の諸要因の分析」第39回日本体育学会大会号, B, 1988.
- (37)「大学生の喫煙習慣に関する研究,第3報,本学体育会学生の喫煙習慣と呼吸機能・運動能力の関係」体力科学,37,1988.
- (38)「大学生の喫煙習慣に関する研究,第4報,本学教職員の喫煙習慣と呼吸機能・運動能力の関係」 体力科学、38,1989.
- (39)「肺機能からみたエアロビクス運動の特徴」第 40 回日本体育学会大会号 B, 1989.
- (40) "The relationship between all university staff smoking habits, their breathing functions and physical ability." 24 FIMS world congress of sports medicine, AMSTERDAM, abstracts, 1990.
- (41)「大学生の喫煙習慣に関する研究,第5報,禁煙効果と呼吸機能・運動能力との関係」体力科学, 39. 1990.
- (42)「喫煙習慣者における運動負荷時の動脈血酸素飽和度の変動」体力科学, 41, 1992.
- (43)「運動後の下肢マツサ-ジ効果の検討」体力科学, 42, 1993.
- (44)「精神疲労は運動およびマッサージにより回復できるか」体力科学、42、1993.
- (45) "Circadian and seasonal changes in metabolism, core temperature and circulation in the European hamster." Pflugers Archiv European Journal of Physiology Suprlement, 426, 1994.
- (46) "The effects of exercise and CHINESE (KOMPO) massage on the mental functions of smokers"25 FIMS world congress, ATHENS, 1994.

## 京都マネジメント・レビュー 第25号

- (47)「喫煙習慣者の精神機能に及ぼす運動・マッサージの影響」体力科学、43、1994.
- (48)「末梢皮膚温に及ぼす、足と手の形態と喫煙の影響」体力科学、44、1995.
- (49)「喫煙習慣者の健康を考える―運動実施時の循環応答から―」体力科学, 44, 1995.
- (50)「運動強度の違いが喫煙者の心機能に及ぼす影響」体力科学、45、1996、
- (51)「非鍛練者の歩行時の汗量と心拍数、口内温上昇度に及ぼす体格の影響」体力科学、45、1996、
- (52)「下腿寒気曝露時の足祉の寒冷血管反応」体力科学、45、1996.
- (53)「下腿寒気曝露時の皮膚温に及ぼす足の形態の影響」日本生気象学会雑誌、33(3), 1996.
- (54)「喫煙及び飲酒習慣と血液学的所見の関連性」体力科学、47、1998、
- (55)「肺機能からみた長期喫煙の影響」体力科学, 48, 1999.
- (56)「呼気中一酸化炭素濃度と喫煙習慣の関係」体育の科学,50,2000.
- (57)「呼気中一酸化炭素濃度と喫煙習慣の関係」体力科学, 49, 2000.
- (58)「肺機能・運動と喫煙の関係」体力科学, 50, 2001.
- (59)「肺機能測定からみた長期喫煙者の特徴」体力科学,50,2001
- (60)「健康増進法施行に伴い、大学環境の受動喫煙防止対策に関する調査」体力科学、53,2004.
- (61)「本学学生の健康管理に関する研究—喫煙習慣と学力の関係」体力科学, 55, 2006.
- (62)「タバコを吸うと、学力はどうなるのか?」日本体育学会第 57 回大会予行集、2006.
- (63)「大学教育環境における喫煙の問題点」みやこ禁煙学会,第 16 回に本禁煙推進,医師歯科医師 連盟総会プログラム,2007,
- (64) 大学の教育環境を「健康な教育環境にする」―喫煙問題から―体力科学, 56, 2007,
- (65) 喫煙指数の違いが運動負荷時の SaO2 に及ぼす影響、体力科学、59、2008、
- (66)「健康増進法」施行後における大学の「受動喫煙」対策について,日本体育学会第60回記念大会予稿集,2009,広島大学,
- (67) 大学の喫煙実態から、受動喫煙問題を考える、体力科学、59、2010.
- (68) 大学の喫煙状況から、受動喫煙問題を危惧する、日本体育学会第62回大会予稿集、2011.
- (69) 大学生の生活実態から、生活習慣病を考える、体力科学、60、2011.
- (70) 教育環境における受動喫煙問題について,日本体育学会第63回大会予稿集,2012.
- (71) 学生の喫煙行動から、受動喫煙対策を考える、体力科学、61,2012.
- (72) 大学入学後の学生の喫煙動向から、健康環境を考える、体力科学、62,2013.

## (講演等)

- (1) 京都府三和町教育委員会高齢者講座、於.センター三和荘「高齢者の健康」1989.3.9.
- (2) 京都市学校保健会下京支部健康教育研究会,於.京都市立七条第三小学校,「健康な生活を送るために一運動と脳の働き一」1997.2.18.
- (3) 京都産業大学教養講座, 於. 京都産業大学「身体運動と健康シリーズ―身体運動と喫煙―」2000.

9.9.

- (4) 京都産業大学健康科学フォラムイン京都、於.キャンパスプラザ京都「青少年の喫煙がからだに 及ぼす影響 | 2000.11.4.
- (5) 京都市東山・山科区市中学校 PTA 母親委員会研修会,於.京都市立大宅中学校「タバコそして健康を考える」2000.12.13.
- (6) 京都市学校保健会北支部研究会,於.京都市立紫竹小学校「青少年と喫煙問題について」 2001.2.13.
- (7) 第 20 回京都外国語大学教養講座,於.京都外国語大学森田講堂「心と体の健康―喫煙から考える健康問題―」2001.6.21.
- (8) 2003 年度京都市小学校 PTA 西京東支部研修会,於,京都市立桂東小学校「子ども達の喫煙にどう取り組むか」2003.7.7.
- (9) 京田辺市田辺中学校校内研修会,於,京田辺市社会福祉センター「喫煙にかかわる健康教育の内容と方法」2003.8.25
- (10) 2003年京都産業大学後期教養講座 於.京都産業大学,「やめたいのにやめられないタバコの話」 2003.09/06.13.27, 10.4
- (11) 京都市立鏡山小学校家庭学級・学校保健委員会,於.京都市立鏡山小学校「タバコの害と青少年の喫煙防止について」2004.3.5
- (12) 第13回禁煙指導講習会,於.キャンパスプラザ京都 「大学での取り組み」2004.9.4.
- (13) 第2回阪急エテルノ文化講演会,於.阪急エテルノ西京極「しぶとく生きよう中高年」2004. 11.6